

## 第2章

# 地域福祉に関する調査結果

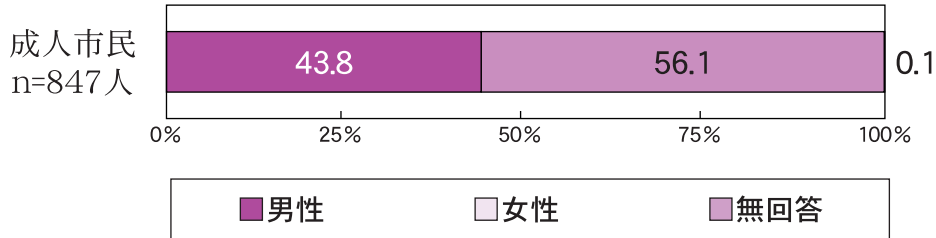
## 第2章 地域福祉に関する調査結果

### 1 あなたご自身のことについて

問1 性別はどちらですか。いずれかに○をつけて下さい。

「女性」が56.1%、「男性」が43.8%の順で以上です。

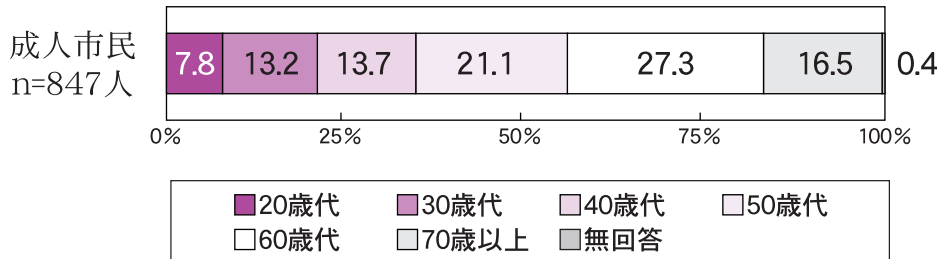
図2.1 性別



問2 年齢 平成21年7月1日現在のあなたの年齢をご記入下さい。

「60歳代」が27.3%と最も多く、次いで「50歳代」が21.1%、「70歳以上」が16.5%の順になっています。

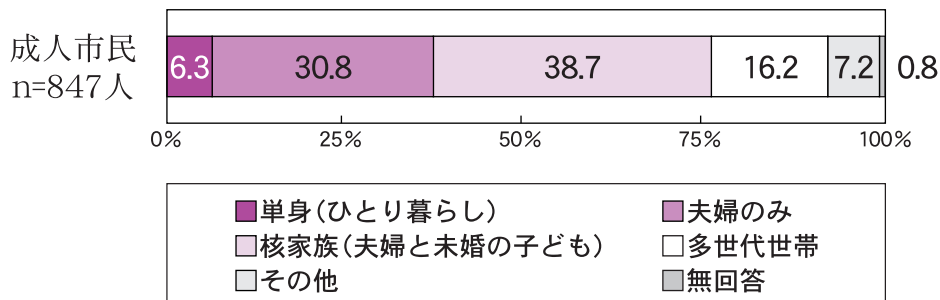
図2.2 年齢(平成21年7月1日現在)



問3 あなたの家族構成(同居されている方のみ)は次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「核家族(夫婦と未婚の子ども)」が38.7%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が30.8%、「多世代世帯」が16.2%の順になっています。

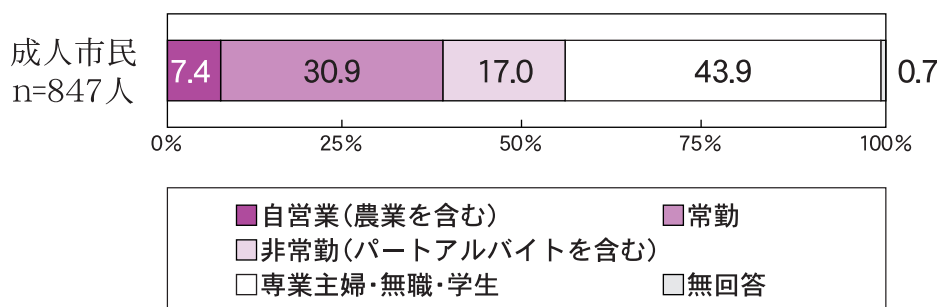
図2.3 家族構成(同居)



問4 あなたのお仕事は、次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「専業主婦・無職・学生」が43.9%と最も多く、次いで「常勤」が30.9%、「非常勤(パート・アルバイトを含む)」が17.0%の順になっています。

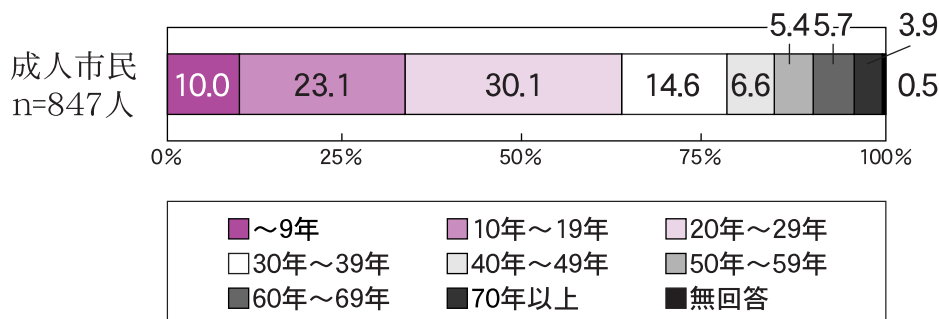
図2.4 職業



問5 あなたが名張市に住むようになってからどのくらいになりますか。年数でお答え下さい(再転入された方は通算の年数でお答え下さい)。

「20～29年」が30.1%と最も多く、次いで「10～19年」が23.1%、「30～39年」が14.6%の順になっています。

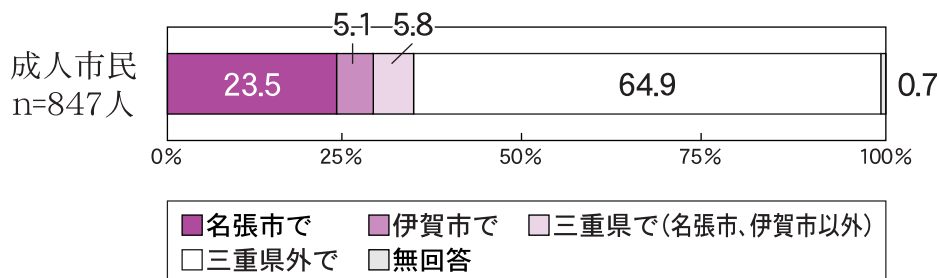
図2.5 名張市在住年数



問6 あなたは、どこで生まれましたか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「三重県外で」が64.9%と最も多く、次いで「名張市で」が23.5%、「三重県で(名張市、伊賀市以外)」が5.8%の順になっています。

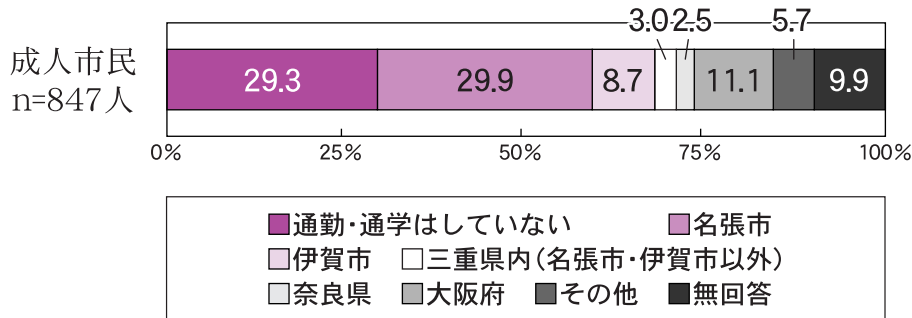
図2.6 出生地



問7 あなたの通勤・通学先はどちらですか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「名張市」が29.9%と最も多く、次いで「通勤・通学はしていない」が29.3%、「大阪府」が11.1%の順になっています。

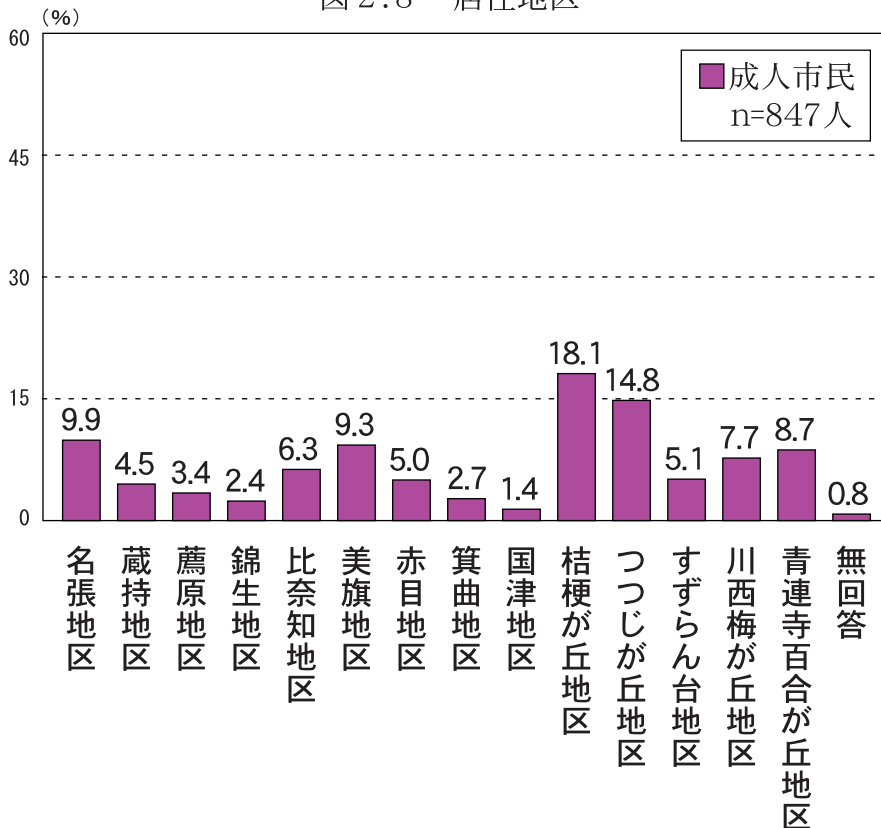
図2.7 通勤・通学先



問8 あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

「桔梗が丘地区」が18.1%と最も多く、次いで「つつじが丘地区」が14.8%、「名張地区」が9.9%、「美旗地区」が9.3%、「青連寺百合が丘地区」が8.7%、「川西梅が丘地区」が7.7%、「比奈知地区」が6.3%、「すずらん台地区」が5.1%、「赤目地区」が5.0%、「蔵持地区」が4.5%、「薦原地区」が3.4%、「箕曲地区」が2.7%、「錦生地区」が2.4%、「国津地区」が1.4%の順になっています。

図2.8 居住地区



## 2 地域福祉に関すること

問9 福祉に関する次の用語をご存知ですか。(1)～(4)について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

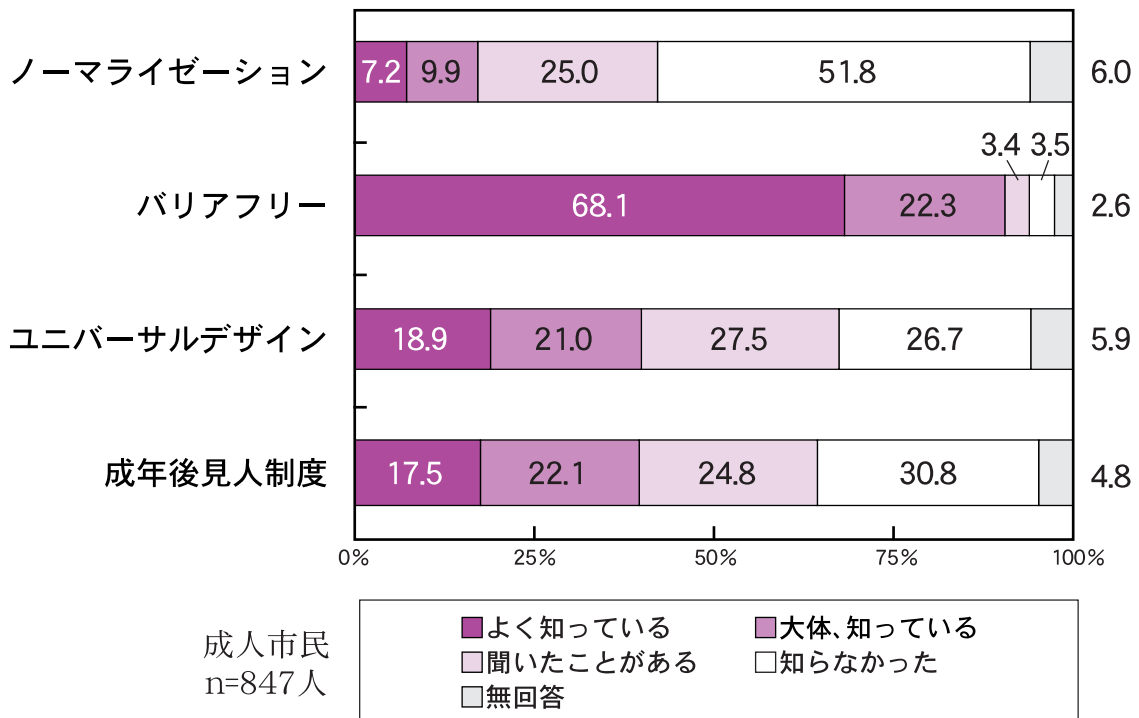
ノーマライゼーションでは、  
「知らなかった」が51.8%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が25.0%、  
「大体、知っている」が9.9%の順になっています。

バリアフリーでは、  
「よく知っている」が68.1%と最も多く、次いで「大体、知っている」が22.3%、  
「知らなかった」が3.5%の順になっています。

ユニバーサルデザインでは、  
「聞いたことがある」が27.5%と最も多く、次いで「知らなかった」が26.7%、  
「大体、知っている」が21.0%の順になっています。

成年後見人制度では、  
「知らなかった」が30.8%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が24.8%、  
「大体、知っている」が22.1%の順になっています。

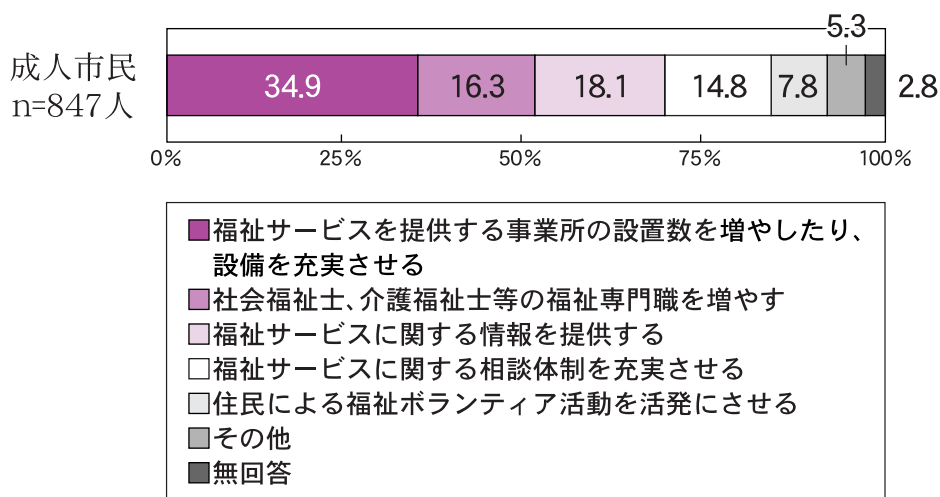
図2.9 福祉に関する用語の認知状況



問10 適切な福祉サービスを供給するために、何を最も充実させるべきだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい

「福祉サービスを提供する事業所の設置数を増やしたり、設備を充実させる」が34.9%と最も多く、次いで「福祉サービスに関する情報を提供する」が18.1%、「社会福祉士、介護福祉士等の福祉専門職を増やす」が16.3%の順になっています。

図2.10 適切な福祉サービスの供給のために最も充実させるべきこと



問11 名張市では、地域福祉に関わる計画として次のような計画をつくっています。あなたがご存知ですか。(1)～(8)について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

総合計画では、

「知らない」が56.6%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が26.1%、「大体、知っている」が9.7%の順になっています。

地域福祉計画では、

「知らない」が53.1%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が28.1%、「大体、知っている」が11.3%の順になっています。

老人保健福祉計画・介護保険事業計画では、

「知らない」が52.2%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が27.5%、「大体、知っている」が13.2%の順になっています。

障害者福祉計画では、

「知らない」が53.4%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が29.3%、「大体、知っている」が10.3%の順になっています。

障害福祉計画では、

「知らない」が56.8%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が28.6%、「大体、知っている」が7.6%の順になっています。

ばりっ子すくすく計画では、

「知らない」が58.1%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が27.6%、「大体、知っている」が6.7%の順になっています。

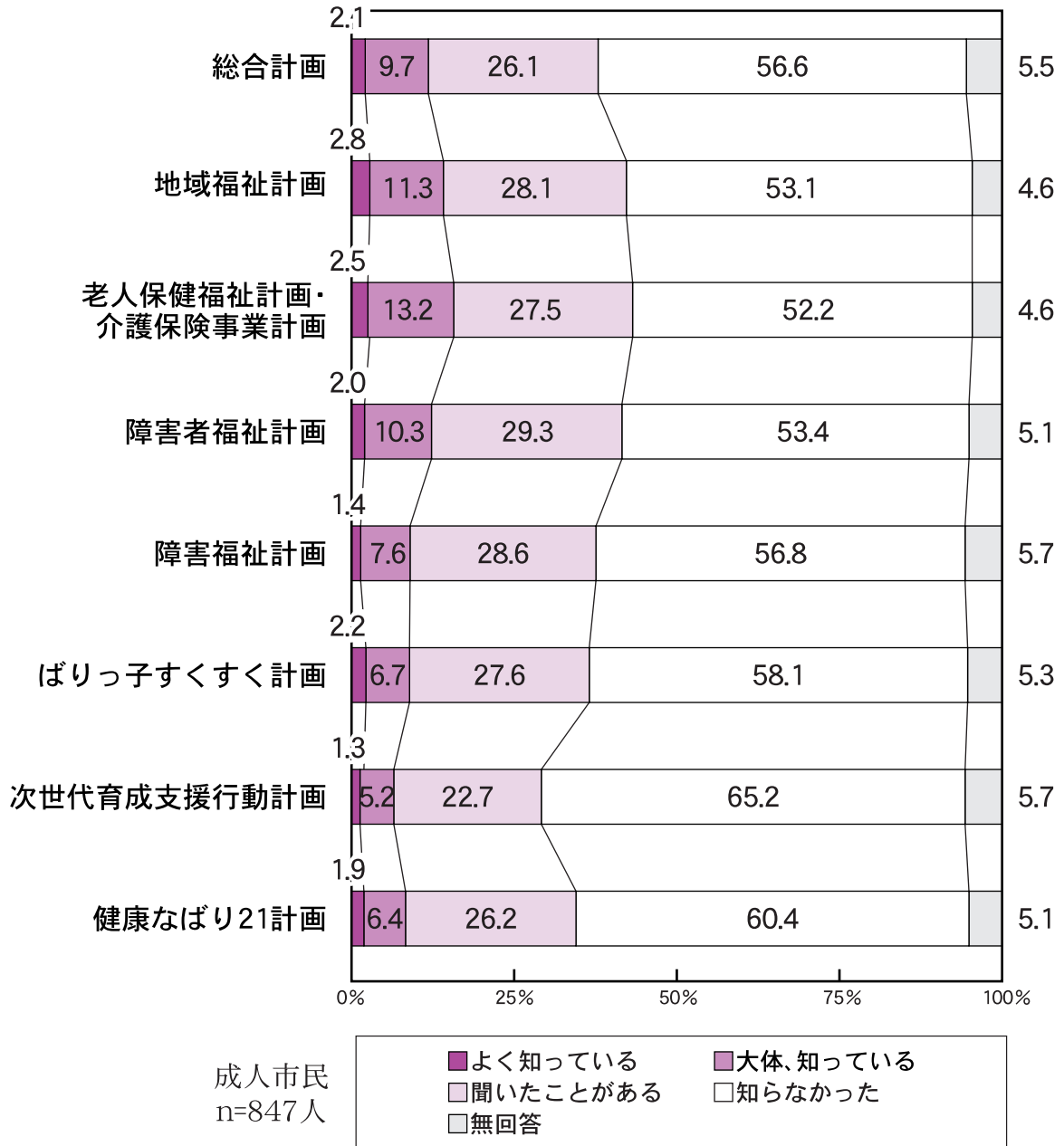
次世代育成支援行動計画では、

「知らない」が65.2%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が22.7%、「大体、知っている」が5.2%の順になっています。

健康なばり21計画では、

「知らない」が60.4%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が26.2%、「大体、知っている」が6.4%の順になっています。

図2.11 地域福祉に関わる計画の認知度

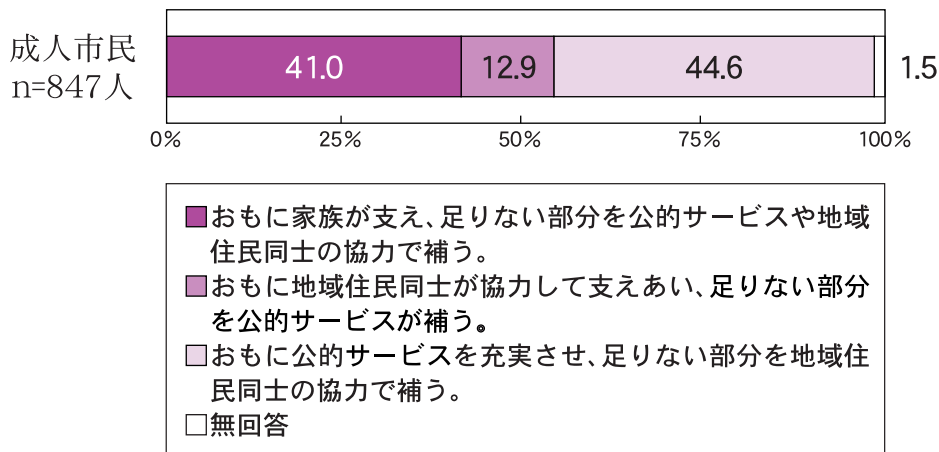




問12 高齢者が住みやすいまちづくりを進めるために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい

「おもに公的サービスを充実させ、足りない部分を地域住民同士の協力で補う。」が44.6%と最も多く、次いで「おもに家族が支え、足りない部分を公的サービスや地域住民同士の協力で補う。」が41.0%、「おもに地域住民同士が協力して支えあい、足りない部分を公的サービスが補う。」が12.9%の順で以上です。

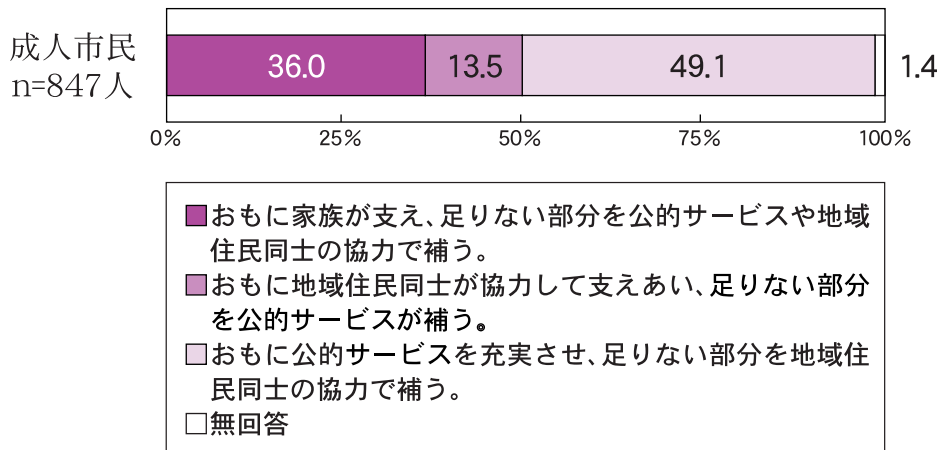
図2.12 高齢者が住みやすいまちづくりに必要なこと



問13 障害者が住みやすいまちづくりを進めるために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「おもに公的サービスを充実させ、足りない部分を地域住民同士の協力で補う。」が49.1%と最も多く、次いで「おもに家族が支え、足りない部分を公的サービスや地域住民同士の協力で補う。」が36.0%、「おもに地域住民同士が協力して支えあい、足りない部分を公的サービスが補う。」が13.5%の順で以上です。

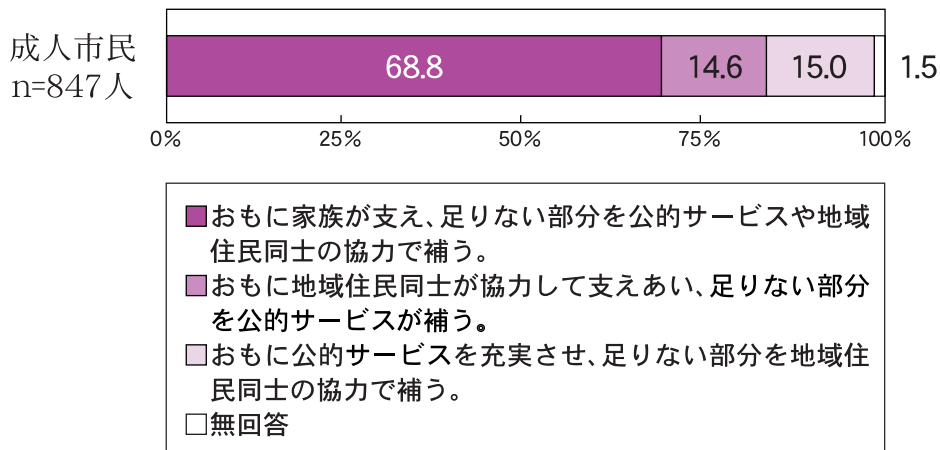
図2.13 障害者が住みやすいまちづくりに必要なこと



問14 子どもを健やかに育てるために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「おもに家族が支え、足りない部分を公的サービスや地域住民同士の協力で補う。」が68.8%と最も多く、次いで「おもに公的サービスを充実させ、足りない部分を地域住民同士の協力で補う。」が15.0%、「おもに地域住民同士が協力して支えあい、足りない部分を公的サービスが補う。」が14.6%の順で以上です。

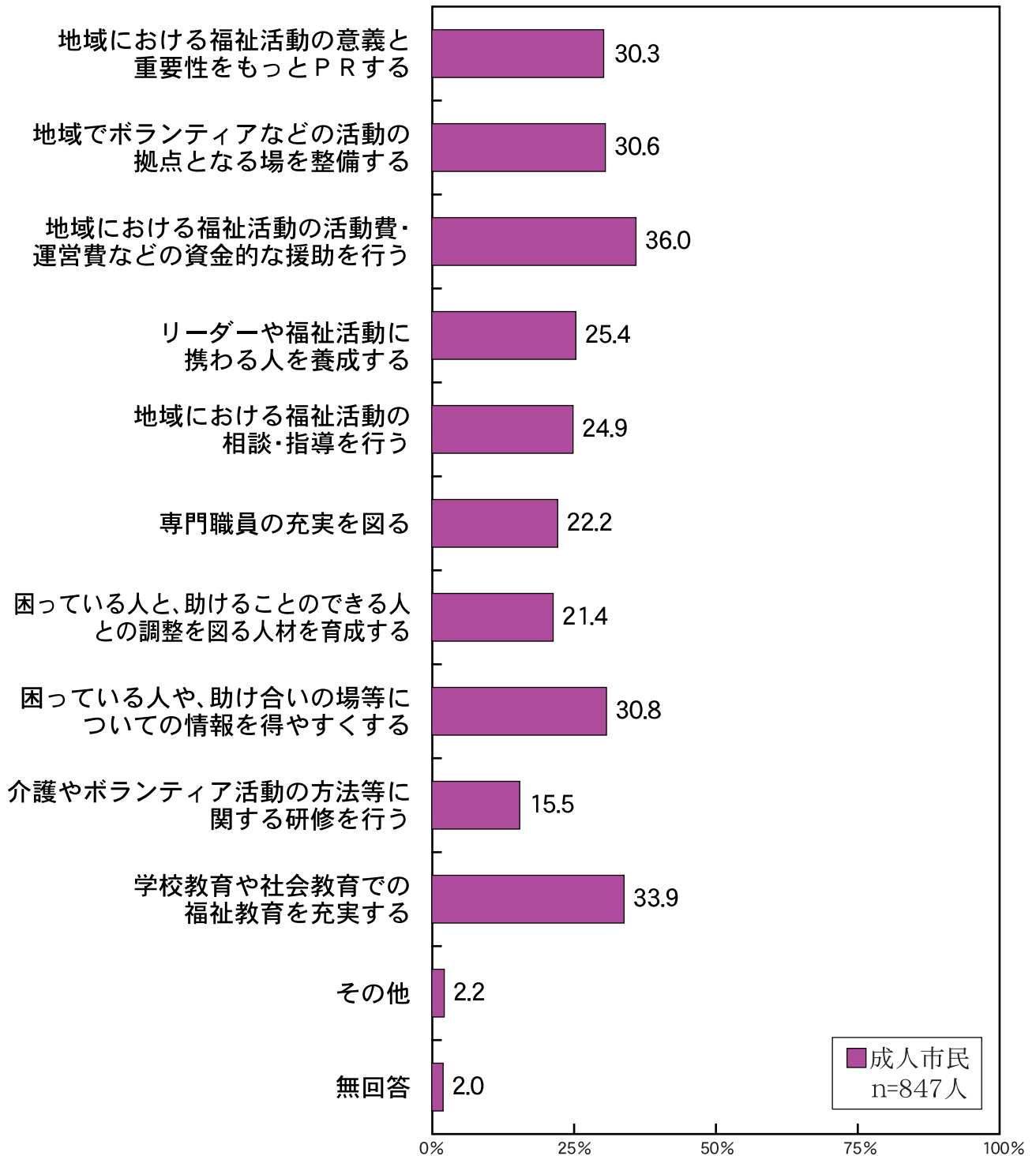
図2.14 子どもを健やかに育てるために必要なこと



問15 地域活動を活発化するために重要な施策は何であるとお考えですか。  
あてはまるもの3つまでに○をつけて下さい。

「地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う」が36.0%と最も多く、次いで「学校教育や社会教育での福祉教育を充実する」が33.9%、「困っている人や、助け合いの場等についての情報を得やすくする」が30.8%の順になっています。

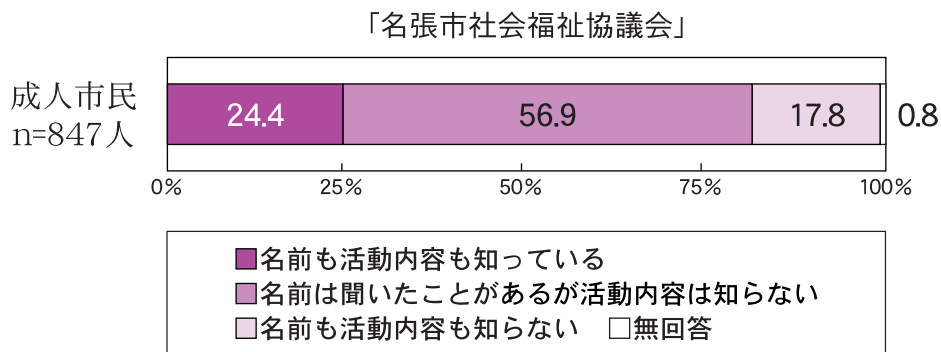
図2.15 地域活動を活発化するために重要だと考える施策



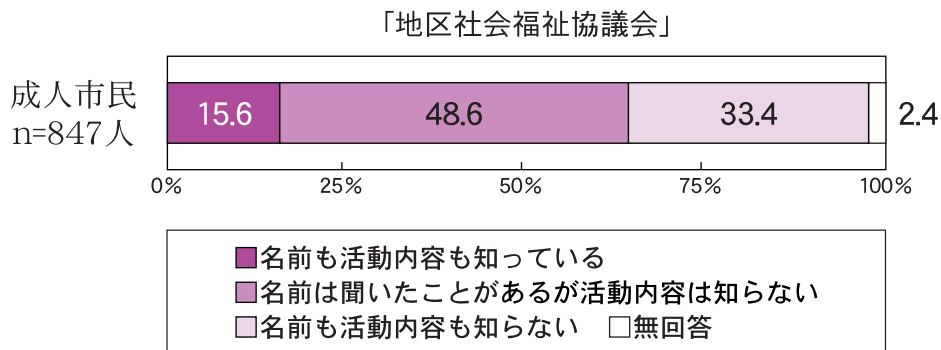
問16 名張市には、地域福祉を推進するために、「名張市社会福祉協議会」や「地区社会福祉協議会」があります。あなたはこのような組織を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「名前は聞いたことがあるが活動内容は知らない」が56.9%と最も多く、次いで「名前も活動内容も知っている」が24.4%、「名前も活動内容も知らない」が17.8%の順で以上です。

図 2.16 地域福祉を推進する組織の認知度



「名前は聞いたことがあるが活動内容は知らない」が48.6%と最も多く、次いで「名前も活動内容も知らない」が33.4%、「名前も活動内容も知っている」が15.6%の順で以上です。

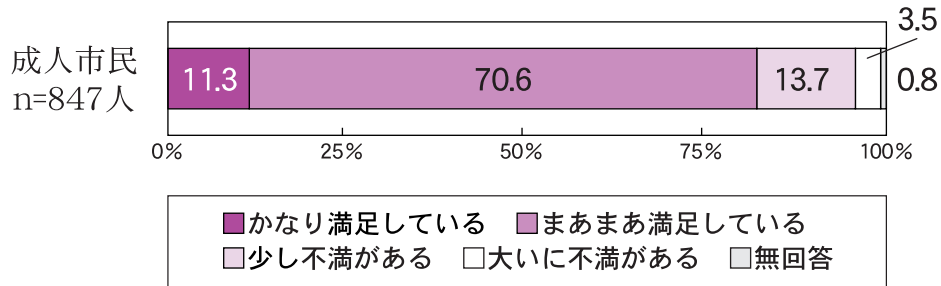


### 3 近所づきあいや地域での活動に関すること

問17 今の近所づきあいに満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「まあまあ満足している」が70.6%と最も多く、次いで「少し不満がある」が13.7%、「かなり満足している」が11.3%の順になっています。

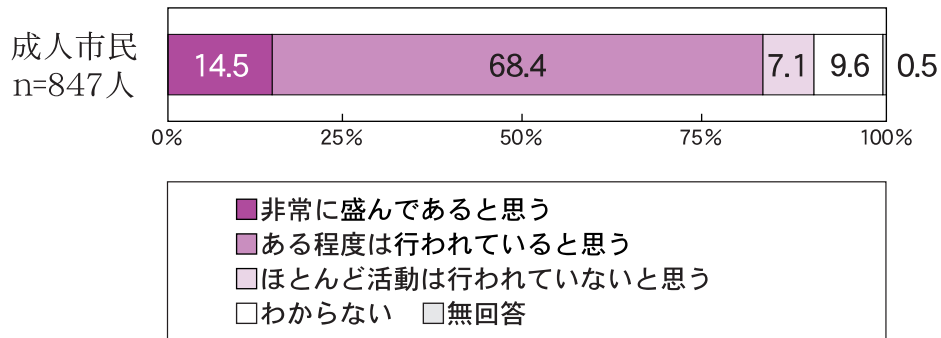
図 2.17 今の近所づきあいの満足度



問18 あなたが現在お住まいの地域では、区や自治会、子ども会、老人クラブ、消防団などの活動は盛んだと感じますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい

「ある程度は行われていると思う」が68.4%と最も多く、次いで「非常に盛んであると思う」が14.5%、「わからない」が9.6%の順になっています。

図 2.18 住んでいる地区の地域活動



問19 あなたが現在お住まいの地域のくらしやすさはいかがですか  
(○は各項目に1つだけつけて下さい)

隣近所などとのつきあいでは、

「どちらかといえば満足」が63.8%と最も多く、次いで「満足」が19.6%、「どちらかといえば不満」が11.2%の順になっています。

近隣の生活マナーでは、

「どちらかといえば満足」が56.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば不満」が18.4%、「満足」が16.8%の順になっています。

自治会や町内会の活動では、

「どちらかといえば満足」が62.7%と最も多く、次いで「満足」が15.7%、「どちらかといえば不満」が14.8%の順になっています。

地域でのボランティア活動では、

「どちらかといえば満足」が50.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば不満」が24.8%、「満足」が9.2%の順になっています。

地域の防災体制では、

「どちらかといえば満足」が49.7%と最も多く、次いで「どちらかといえば不満」が27.2%、「不満」が8.1%の順になっています。

保健・福祉サービスや相談体制では、

「どちらかといえば満足」が39.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば不満」が37.5%、「不満」が9.6%の順になっています。

病院など医療関係施設では、

「どちらかといえば不満」が35.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」が31.5%、「不満」が24.7%の順になっています。

買い物などの便利さでは、

「どちらかといえば満足」が44.9%と最も多く、次いで「満足」が21.4%、「どちらかといえば不満」が20.4%の順になっています。

公的な手続きの便利さでは、

「どちらかといえば満足」が43.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば不満」が33.1%、「不満」が13.2%の順になっています。

道路や交通機関などの使いやすさでは、

「どちらかといえば満足」が45.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば不満」が29.4%、「不満」が14.2%の順になっています。

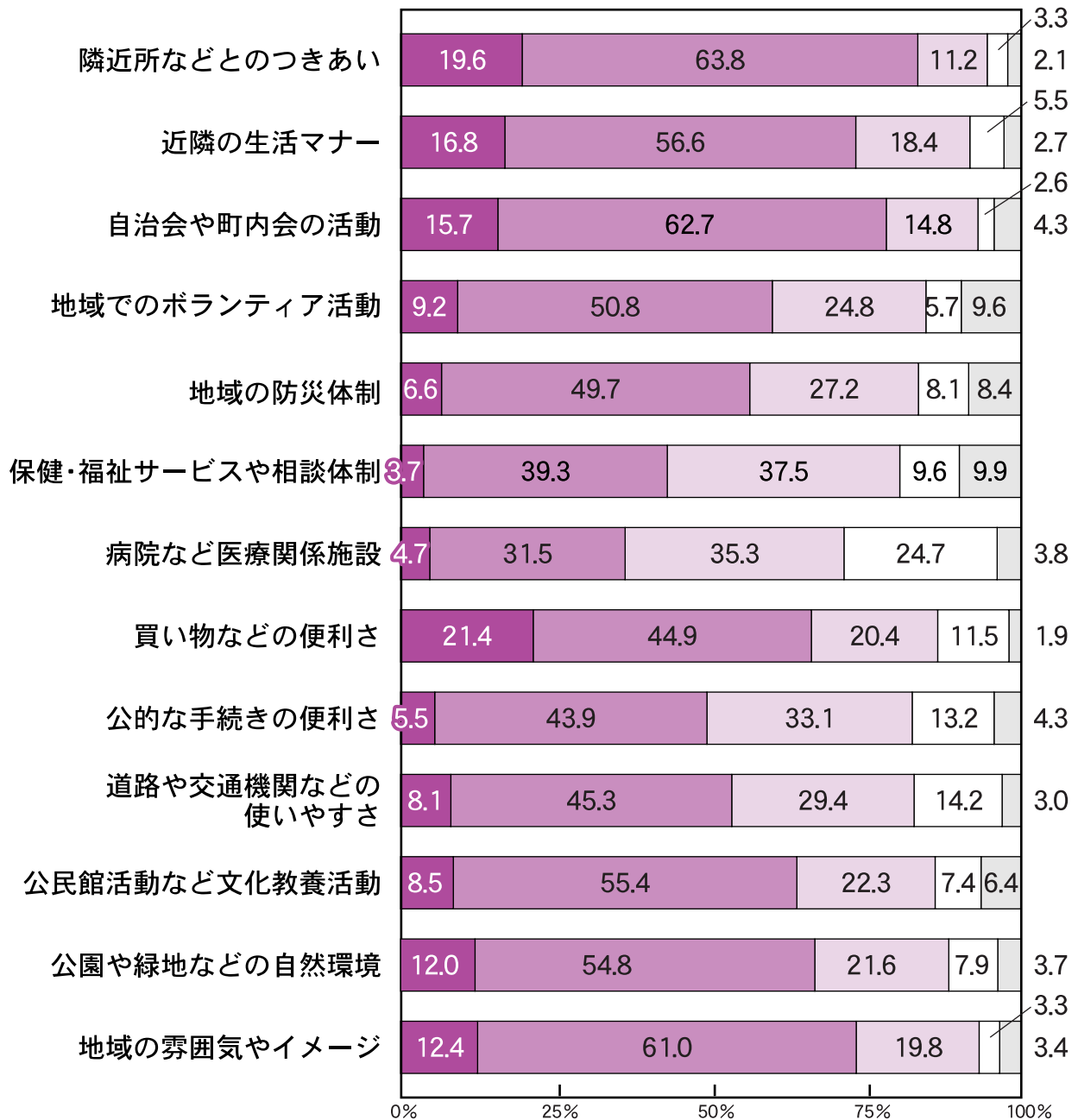
公民館活動など文化教養活動では、

「どちらかといえば満足」が55.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば不満」が22.3%、「満足」が8.5%の順になっています。

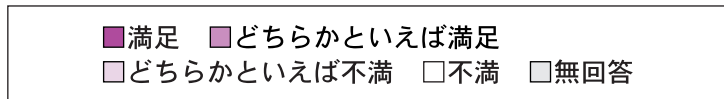
公園や緑地などの自然環境では、  
「どちらかといえば満足」が54.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば不満」が21.6%、「満足」が12.0%の順になっています。

地域の雰囲気やイメージでは、  
「どちらかといえば満足」が61.0%と最も多く、次いで「どちらかといえば不満」が19.8%、「満足」が12.4%の順になっています

図2.19 住んでいる地域の暮らしやすさの評価



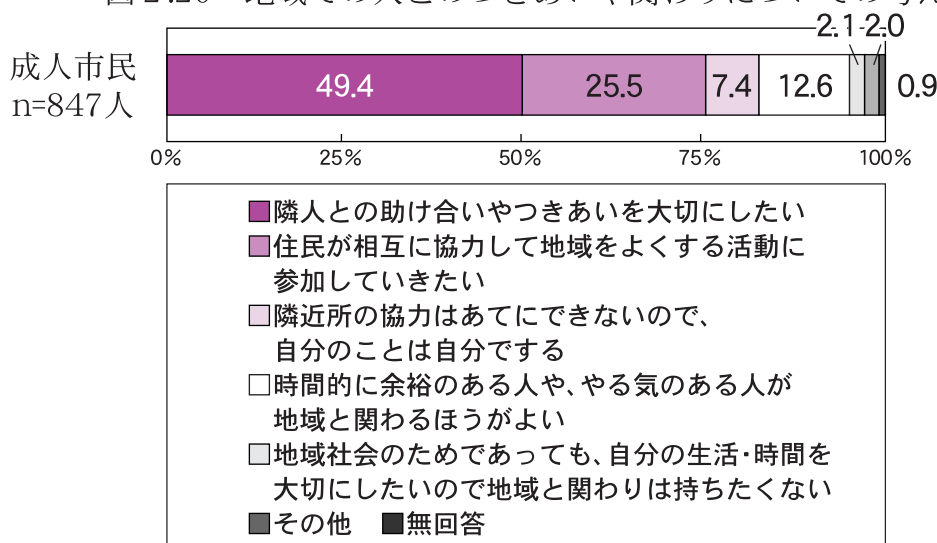
成人市民  
n=847人



問20 地域における人とのつきあいや地域との関わりについて、あなたの考えはつぎのどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「隣人との助け合いやつきあいを大切にしたい」が49.4%と最も多く、次いで「住民が相互に協力して地域をよくする活動に参加していきたい」が25.5%、「時間的に余裕のある人や、やる気のある人が地域と関わるほうがよい」が12.6%の順になっています。

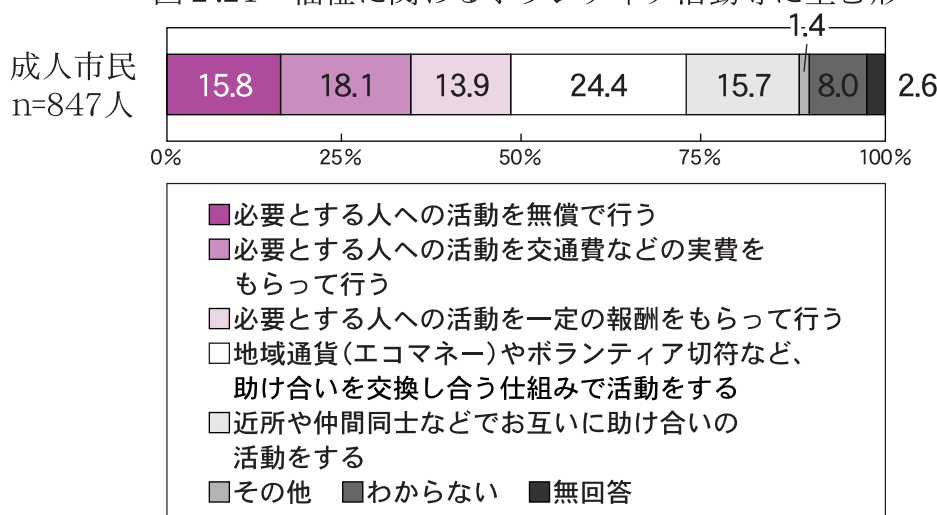
図 2.20 地域での人とのつきあいや関わりについての考え



問22 福祉に関わるボランティア活動や助け合い活動がどのような形で行われるのがいいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「地域通貨(エコマネー)やボランティア切符など、助け合いを交換し合う仕組みで活動をする」が24.4%と最も多く、次いで「必要とする人への活動を交通費などの実費をもらって行う」が18.1%、「必要とする人への活動を無償で行う」が15.8%の順になっています。

図 2.21 福祉に関わるボランティア活動等に望む形

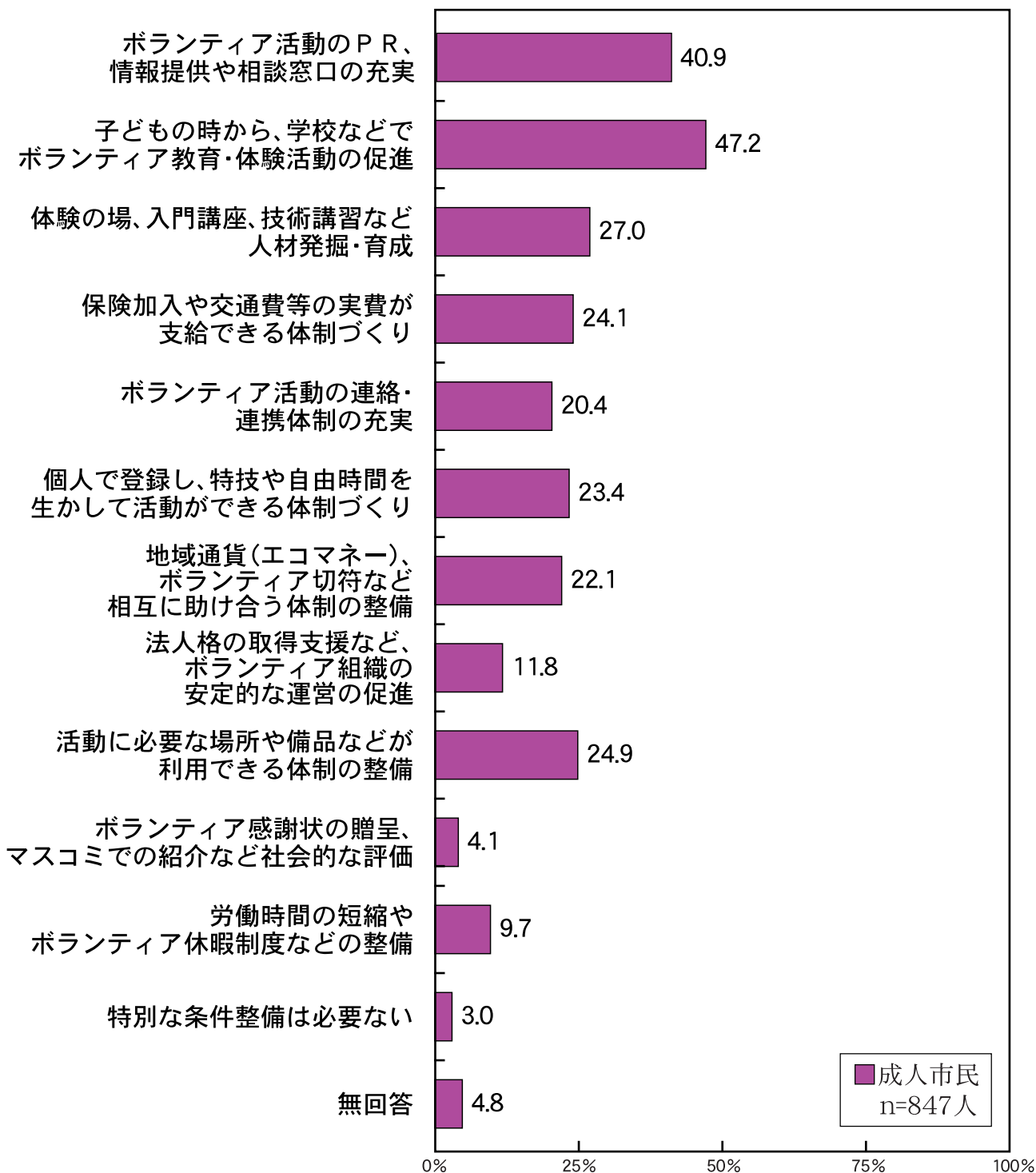




問23 福祉に関わるボランティア活動や助け合い活動への参加や利用を活性化するためにはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけて下さい。

「子どもの時から、学校などでボランティア教育・体験活動の促進」が47.2%と最も多く、次いで「ボランティア活動のPR、情報提供や相談窓口の充実」が40.9%、「体験の場、入門講座、技術講習など人材発掘・育成」が27.0%の順になっています。

図2.22 福祉に関わるボランティア活動等への参加や利用を活性化させるために必要なこと

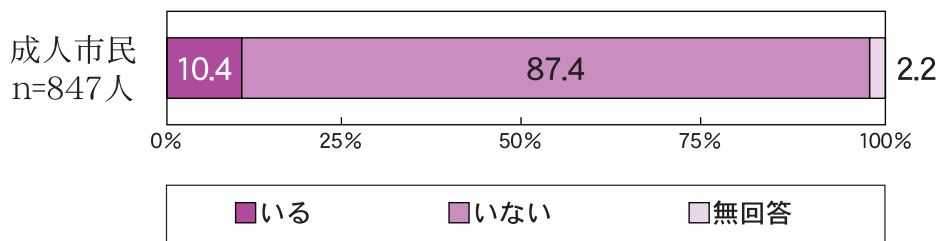


#### 4 在宅ケアに関すること

問26 あなたの家族(ご自身含む)に在宅で看護・介護が必要な人がいらっしゃいますか。

「いない」が87.4%、「いる」が10.4%の順で以上です。

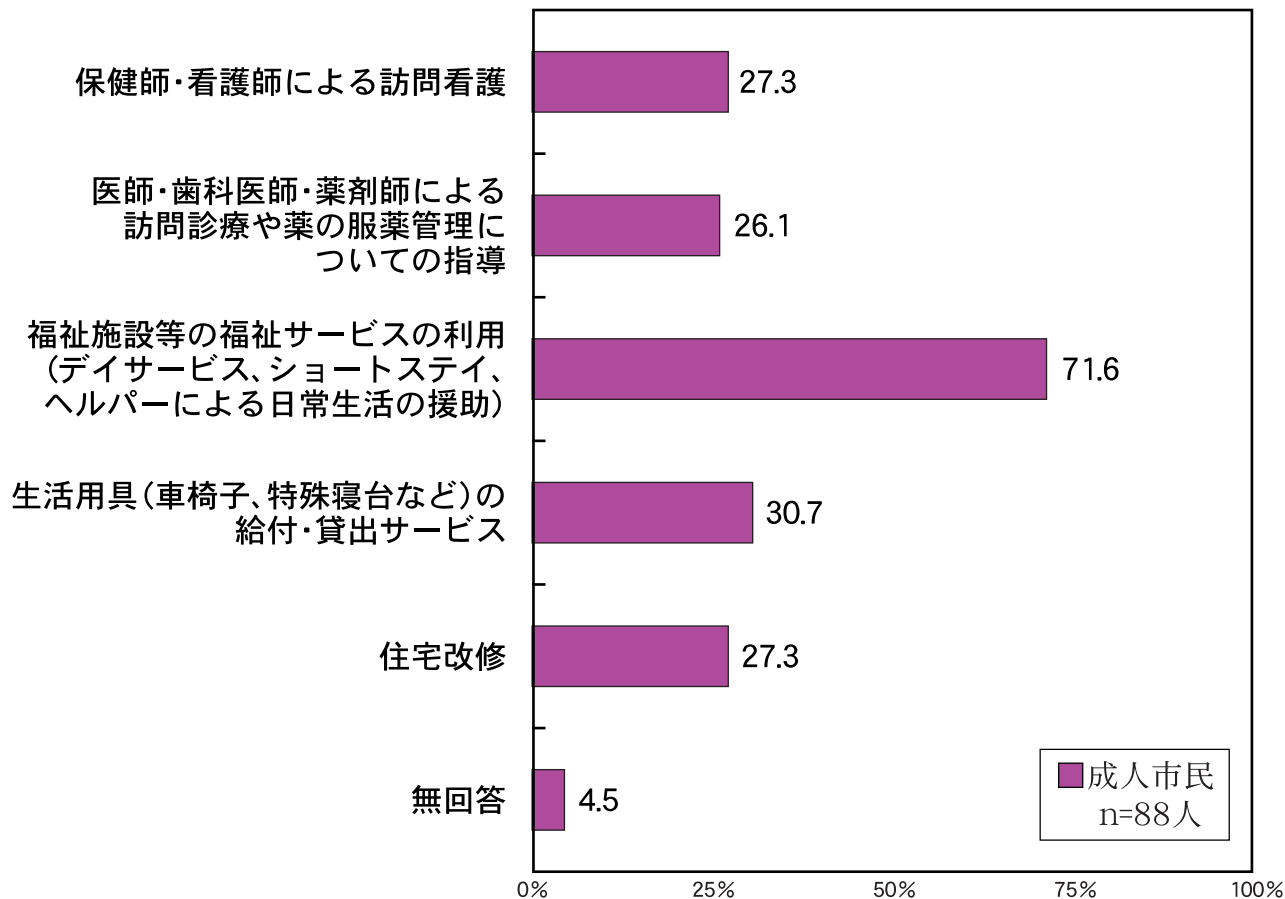
図 2.23 家族に在宅で看護・介護が必要な人の有無



問27 問23で「1 いる」と答えた方のみ、お答え下さい。必要なサービスは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「福祉施設等の福祉サービスの利用(デイサービス、ショートステイ、ヘルパーによる日常生活の援助)」が71.6%と最も多く、次いで「生活用具(車椅子、特殊寝台など)の給付・貸出サービス」が30.7%、次いで「保健師・看護師による訪問看護」が27.3%、「住宅改修」が27.3%と同率になっています。

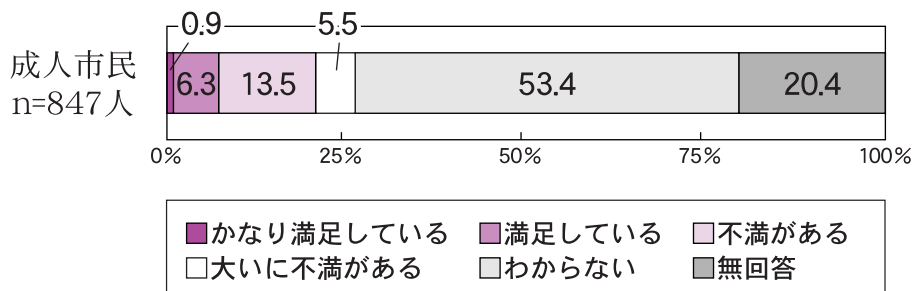
図 2.24 必要なサービス



問28 あなたは、在宅医療に対してどのように感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「わからない」が53.4%と最も多く、次いで「不満がある」が13.5%、「満足している」が6.3%の順になっています。

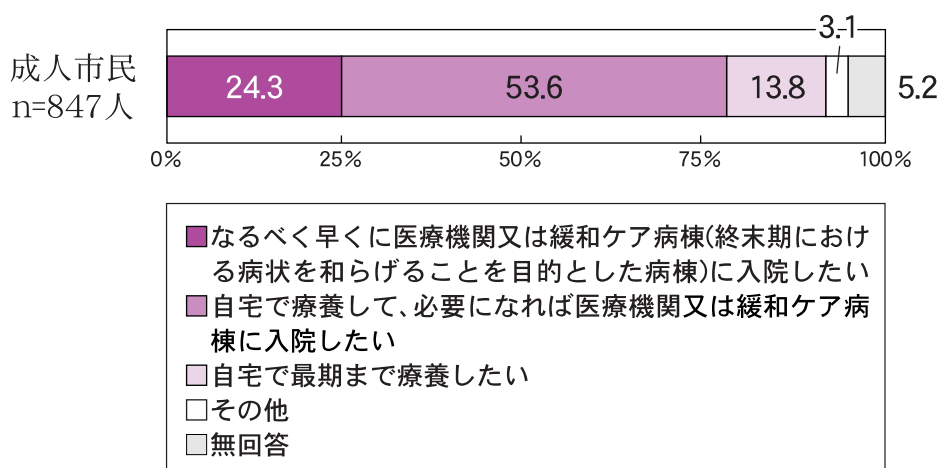
図2.25 在宅医療に対する満足度



問29 例えば、あなたご自身が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヵ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいですか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「自宅で療養して、必要になれば医療機関又は緩和ケア病棟に入院したい」が53.6%と最も多く、次いで「なるべく早くに医療機関又は緩和ケア病棟(終末期における病状を和らげることを目的とした病棟)に入院したい」が24.3%、「自宅で最期まで療養したい」が13.8%の順で以上です。

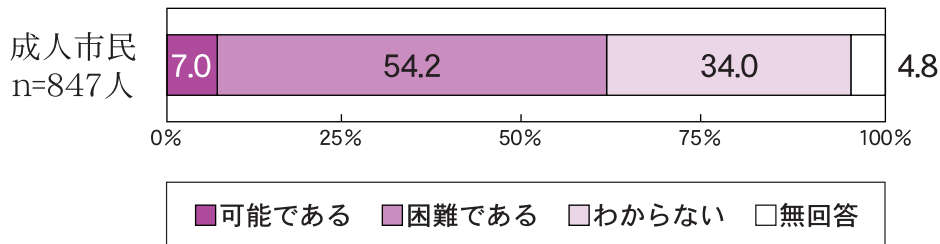
図2.26 療養生活を最期まで送りたいところ



問30 あなたは自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

「困難である」が54.2%と最も多く、次いで「わからない」が34.0%、「可能である」が7.0%の順で以上です。

図2.27 最期まで自宅で医療ができる



問31 問30で「2 困難である」と答えた方のみ、お答え下さい。どうして困難であるとお考えですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「症状が急に悪くなったときにすぐに病院へ入院できるか不安である」が50.5%と最も多く、次いで「在宅療養を見守ってくれる体制が整っていない」が45.5%、「介護してくれる家族がいない。又は家族も高齢者でお互い介護が困難である」が35.1%の順になっています。

図2.28 困難な理由

